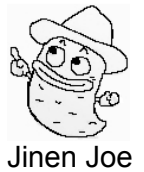


2011年4月1日
第13号

ゆーとぴや
湯戸飛夜いけいけだより



Jinen Joe

発行 西徳山まちづくりの会

記事:

・“西徳山まちづくりの会15周年”記念パーティ開催

・シリーズ「グループ紹介」農事組合法人“あぐり西徳山”

・「麦踏み」をしました

・花いっぱい運動で「奨励賞」を受賞

・「戸田駅とともに100年を生きて…」竹内先生にインタビュー

・YABテレビに戸田駅と「とれたて市場ゆーとぴや」登場

・「人づくり・地域づくりフォーラムin山口」で研修してきました

・お知らせ

会員募集中

あなたも「西徳山まちづくりの会」と一緒に活動しませんか。会では、常時会員を募集しています。

連絡先:

(0834)63-3770

(神本)まで

謹んで震災のお見舞いを申し上げます

このたびの東北関東大震災により被害を受けられた皆様に、一日も早く復旧されますよう、心よりお祈り申し上げます。

“西徳山まちづくりの会15周年”
ウソップ物語「湯戸飛夜基本構想」Part II 出版記念パーティ開催

まちづくりの会発足15周年と、向こう10年間の湯野・戸田・夜市の地域づくりの活動指針などを示した西徳山ウソップ物語「湯戸飛夜基本構想」Part IIの発表会を去る3月5日(土)に夜市公民館で行いました。

発表会には周南市長・市議会議長・地元市議・地元自治会長など多くの来賓の方々が出席くださり、祝辞をいただきました。

約1時間の式・発表会の後、祝賀会に移り、和やかな時間が流れていきました。

〈基本構想の主な内容〉

1. 戸田駅を中心とした活動を継続し、戸田駅を花の駅にします。のどかな時間を過ごせるように、軽食喫茶や案内所などを設置します
2. 道の駅に対して、出品やイベントへの



熱演中の会員(日刊新周南提供)

協力をします。

3. 西徳山の発展を目指した活動
農地などの環境保護・保全活動
老人にやさしいまちづくり
4. 交流・研修活動の充実
などです。

基本構想は17ページからなる冊子です。詳しい内容は「いけいけだより」を通じてお知らせする予定です。



戸田駅を「花の駅」へ



お祝いに来られた来賓の皆さん

シリーズ「グループ紹介」

農事組合法人あぐり西徳山



平成23年1月28日、国民宿舎「湯野荘」で農事組合法人あぐり西徳山の設立総会が開催されました。

湯野・戸田・夜市地区の農業者6名の参加による集落営農法人で、周南市では7番目、周南市西部地域では初めての集落営農法人です。

代表理事の神本康雅さんにお話を聞きました。

【この組合を立ち上げようと思いついたきっかけは】

夜市・戸田・湯野地区は圃場整備が施されておらず、狭く効率の悪い圃場での兼業農家がほとんどです。また、農家の高齢化が進み、後継者問題とも相まって農地の荒廃が急速に進み始めています。環境保全、食糧自給のためにも何とか美しい田園風景を次世代につなげたいとの思いで、仲間や行政、県、JAと相談しながら何とか法人設立にこぎつけました。

【将来のゆめは】

今は、がむしゃらに農地の集積、規模の拡大を図りながら、前にすすんで行くしかありませんが、いつの日かは、水田だけでなく、特産品の野菜などにも着手



総会後の記念撮影

し、この地域の農地を守っていこうという決意だけはしっかりとあります。

西部道の駅でもできますことから、1次産品の出荷だけでなく、地元農産物を使った加工品を開発し、それを求めて列をなすような特産品を作りたいとの夢も持っています。

また、法人で農業を目指す若い人を一人でも二人でも雇用できるようになることを夢見ています。

(呑むくん記)

「麦踏み」をしました 西徳山まちづくりの会 特産品加工部会



一生懸命麦踏する皆さん

湯野の農園から、“麦踏みに来て下さい”と声が掛かり、体重と脚には自信のある女性3人と男性1人が参加しました。目的地に着くと可愛いグリーンの芽が出たばかり。早速それぞれの畝をトントンとリズムカルに踏み始めました。ひと畝踏むと額に汗、体はぽかぽか、なんだかダイエットにイイみたい。みんなで踏むので時間もあまり掛らなかつた。そして、私たちは麦が取れたらうどんにしようか？かりん糖もいいし、ピザもチヂミも出来る、と食べる夢は膨らむばかり。働いた後のコーヒーは格別でした。また、麦踏み呼んでください。

やまぐち国体記念花いっぱい運動「奨励賞」を受賞しました

山口県庁において、花いっぱい優良団体等の授賞式が行なわれ、山口国体・山口大会花いっぱい運動奨励賞を西徳山まちづくりの会がいただきました。当日は国体マスコット「ちよるる」も登場、一緒に記念撮影をし、会場に花を添えました。

戸田駅を花の駅に、との想いで草引き・水やり・施肥等の試みに気付いていただけたことは ちょっぴりうれしくなりました。

今年度も「花の駅」をめざしてがんばります。



「戸田駅と共に100年を生きて」

生涯現役 竹内清海 先生(98歳)にインタビュー

なぜ戸田駅を夜市に置いたか、の話題から始まりました。諸説あるようですが、竹内先生によると「元来、山陽本線自体が戸田のまちを通ることになっていた。それに対し農家の人たちが、牛が驚いて騒ぐなどといって反対したために、海岸線を通るようになって、竹内医院のあたりへ作る予定だった戸田駅を夜市の中村に置いた。」ということです。

「戸田駅を本格的に利用したのは、大正14年から昭和5年にかけての徳山中学校に通っていた時です。当時は戸田・徳山間の1年間の定期の代金が20円でした。今の戸田郵便局の前の道は新道といって、戸田駅ができてから作られたものです。」

先生は懐かしそうに目を細められて続けられました。

「汽車は桑原のトンネルを出る時、汽笛を鳴らします。それを聞くのがちょうど八木水産の辺りです。さあ、それからが汽車との競争です。間に合うように懸命に走ります。当時は2時間に1本くらいしか汽車がなかったので、乗り遅れると大変です。駅員さんも心得たもので、1~2分くらいは待っていてくれたものです。そして列車には、当時の男女7歳にして席を同じうせずの精神で、男子は前の車両に、女子は後ろの車両に乗り込んだものです。」

中学時代の3・4・5年は野球部に籍を置かれました。

「ピッチャーがよかったから山陽大会(岡山・広島・山口)に出場もしました。」と言われましたが、なかなかどうして先生も名セカンドで活躍されたようです。



インタビューに応えられる竹内先生

「徳中から九州大学に進み、昭和15年に中国の病院に勤務し始めました。そして、昭和18年の夏に現地で軍隊に召集され、終戦まで軍の医師として務めました。私が31~34歳のころです。復員したのは昭和21年5月でした。終戦からそれまでの間は、中国でいわゆる捕虜のような生活でした。蒋介石から給料を貰いましたよ。」

帰ってからは、先生の地域医療への取り組みの始まりです。

「四郎谷、津木への往診は、自転車で行けるところまで行き、後は歩きます。湯野の河井、石砂谷の方にも行きました。当時は歩くのも速かった。」

このようにして先生の足腰が鍛えられ、これまでの功績につながっているのではないのでしょうか。

自動車の運転免許を取得するのも早かったそうです。昭和26年くらいのことで、医師の中では徳山で3番目だったとのこと。これで、ますます地域医療の活躍の範囲が広がったのだと思われます。

平成13年の90歳の頃から、それまで見るのが大好きだった油彩画を本格的に描き始められ、天性の才能で上達され、幾多の作品を仕上げられました。3年前から肩・腕を痛められ、現在は水墨画に取り組んでおられます。

私たちにとって、健やかな体を保ってくださっただけでなく、健やかな心、いつまでも夢を持って挑むことの大切さも教えてくださいました。

先生の「生涯現役」の文字が、墨痕鮮やかに、目に焼きついています。



西徳山まちづくりの会

編集後記

いけいけだよりを編集している間に東北関東大震災が起きました。未曾有の地震で多くの方がお亡くなりになったり、被災されたりしました。心からお見舞いを申し上げます。

さる3月5日に西徳山のまちづくりの指針となる基本構想の発表会をしましたが、何か大きなことを基本構想に盛り込むのを忘れたような気がしてなりません。

よく考えてみると、それは、安心・安全な地域づくりということ。人は助け合うことによって、より絆が強くなります。一緒に取り組むことによってより連帯意識がわいてきます。

防災という視点一つで、環境問題や人々の連携、お年寄りに優しいまちづくりなどどんどん波及してきます。

防災は行政や消防関係だけの問題ではなく、住民一人ひとりの大切な問題のように思われます。

まちづくりの会としても、今回の大震災にあたり、タオルを集め被災地に送らせていただきました。

編集長 神本康雅

発行責任者

会長 酒井昭子

広報部長 石田真理子

西徳山まちづくりの会

ホームページ URL:

www.nishi-tokuyama.gn.to

YAB(山口朝日放送)に

戸田駅と“とれたて市場「ゆーとびや」” 登場!

「Jチャンやまぐち」の各駅下車散歩“山陽本線”のコーナーで、「木造で瓦葺きという懐かしい造りの戸田駅で見つけたのは、地元の方たちが白寿の祝いに贈った大きな賞状! 駅に賞状を贈るって、ちょっと素敵ですよ」と戸田駅が紹介されました。

その後、笑顔の絶えない元気なお母さん方にすすめられ、生産者の顔が見えて安心安全、さらに値段のお得な野菜がたくさん「とれたて市場ゆーとびや」へ直行。おすすめの「ゆーとびや弁当」530円を購入し早速試食。「素材の美味しさを生かした優しい味付けのお弁当で、とっても美味しかったです」とのこと。

「とれたてで新鮮な野菜にお弁当、そして元気な人たちに出会い、ちょっと元気をもらった気がした戸田の各駅下車散歩でした!」とのうれしい嬉しいコメントをたくさん頂きました。よくおいでました。また来ていね、まっちゃんよ〜。

「人づくり・地域づくりフォーラム in 山口」で 研修してきました

2月19日、20日に山口県セミナーパークで開催されたセミナーで、全国の実践事例や研究成果の発表と情報交流を通して、新しい時代の人づくり・地域づくりの在り方を学んできました。

1日目はビッグ鼎談「シニア世代の社会参加及び社会貢献活動を促進するための具体的方策」と実践事例発表。

2日目は「住民主体の地域づくり・まちづくりを推進するための具体的方策について」のパネルディスカッション

と「なんでも鑑定団」でおなじみの北原照久さんの「夢はかなう、きつとかなう」と題した記念講演。

研修を終えて、「私たちもなんかせんにやいけん。なんかできるよ。」と鼻息荒く、気持ちを高めて帰ってきました。



お知らせ

平成23年度総会を開催します

西徳山まちづくりの会の「平成23年度総会」を4月16日(土)15:00から戸田駅前広場で開催します。地域の皆さまの参加をお待ちしています。

西徳山まちづくりの会の全体会

原則として毎月1日および16日の19:30から夜市公民館で開催します。興味のある方は遠慮なくご参加ください。

☆☆お詫びと訂正☆☆

第12号で「戸田からし漬け」を復活させる、と記載致しましたが、夜市の加工所で現在もつくっておられます。おわびして訂正させていただきます。